

令和6年度 日本看護学会九州地区大分分会 第2回セミナー アンケート集計結果

場所：大分中村病院 7階 会議室

研修日時：令和7年2月8日（土） 13：30～16：00

参加者：50名 アンケート提出者：49名

I. 所属する施設の規模を教えてください。

	100床未満	100～299床	300～499床	500床以上	未記入
人数	1	26	13	8	1

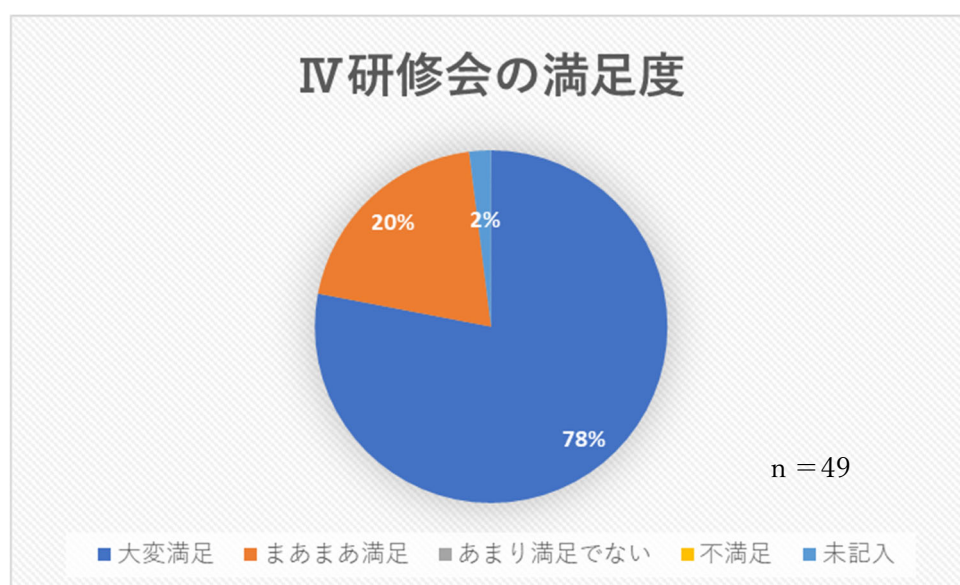
II. 看護師経験年数を教えてください。

	3年目以上	4～6年目	7～9年目	10年目以上
人数	7	6	3	33

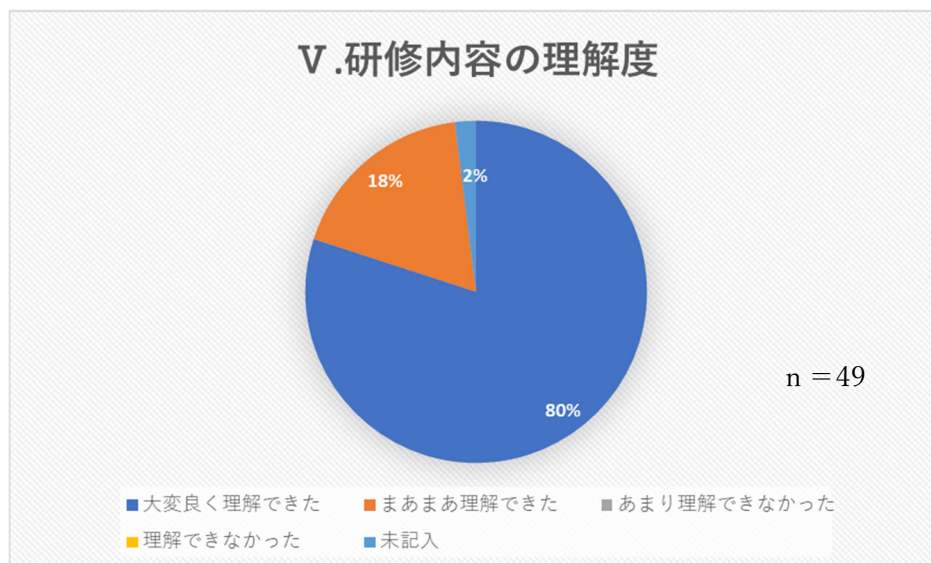
III. 手術室経験年数を教えてください。

	3年目以上	4～6年目	7～9年目	10年目以上
人数	12	10	4	23

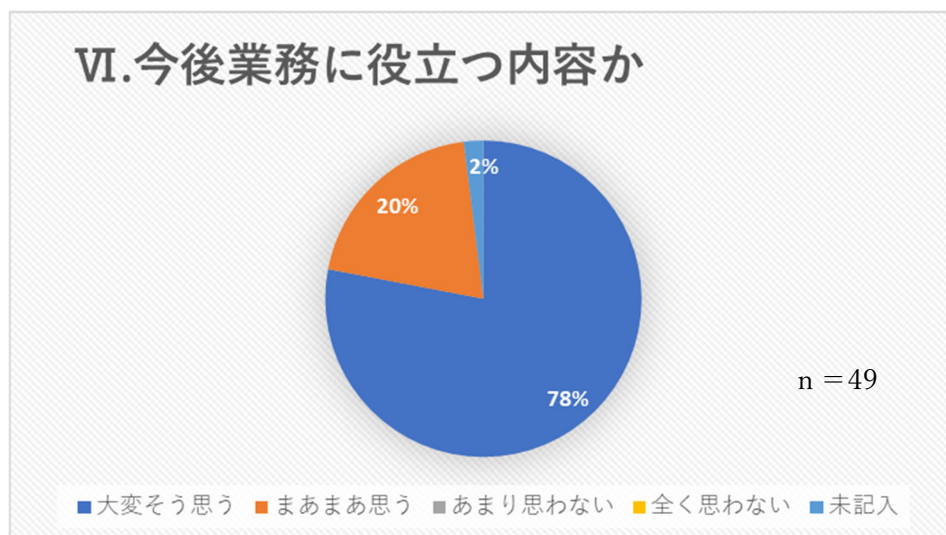
VI. 今回の研修会に参加して満足できましたか？



V. 研修の内容は理解されましたか？



VI. 今後の業務に役立つ内容でしたか？



VII. 今後に役立つ・活かせそうと感じた内容がございましたらご記入ください。

1) 講義

- ・講義の内容が分かりやすかった。
- ・自施設の構造や、ハザードマップをしっかりと確認し、どのような被害が出る可能性があるか把握しておきたい。
- ・災害対策について地震の事しか考えられていなかったが、講義を通してもっと広く考えていく必要があると感じた。自分の病院が免震と耐震が混在していることは知っていたが、どの部屋がどちらになっているかは知らなかったため、知っておく必要があると感じた。
- ・自施設のハザードマップや停電時にどれだけ電気がもつのか等を把握していく必要があると感じた。
- ・まず自施設の立地・設備を把握する。フェーズ毎の対応が違う。
- ・復習にもなり、大変勉強になった。施設に戻りもう一度ハザードマップやアクションカードを見直

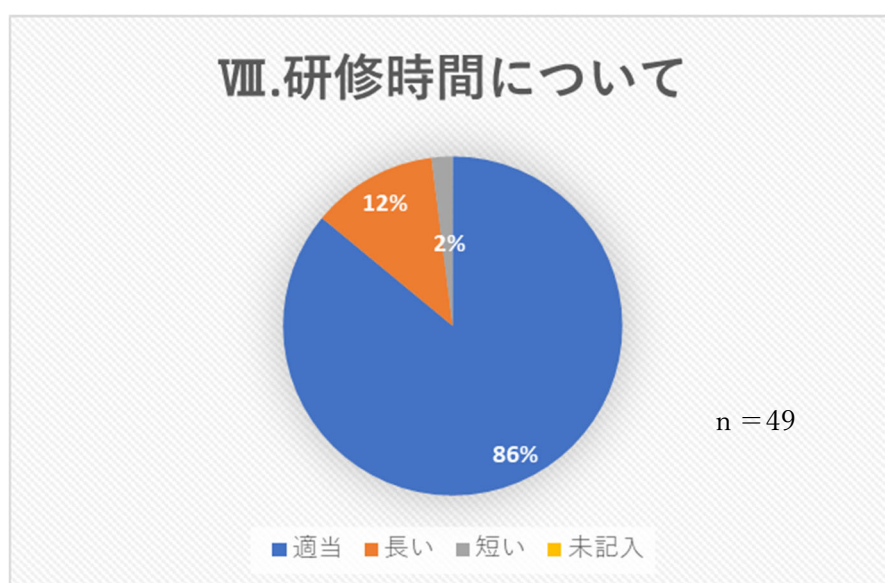
したいと思う。

- ・地震発生時の初動を参考にアクションカードを見直したいと思います。
- ・フェーズ毎にすべき対策を教えて頂いたのでマニュアルに組み込みたい。
- ・地震発生時の災害フェーズの行動。
- ・静穏期に備えることが大切だと思った。
- ・急性期のマニュアルが弱いと感じたので、院内マニュアルの改訂を行っていきたい。
- ・アクションカードを活用したい。
- ・アクションカードの活用をしていききたい。地震だけじゃない災害時の備えや優先順位の決定をしていききたい。
- ・麻酔科医のアクションカードの有無をはじめとして、自施設の知らないことが多くあることがわかったので知って備えていきたいです。
- ・わかりやすいアクションカードの作成、自施設の設備、非難訓練の見直し。
- ・自施設の設備や耐震構造を知らないことにハッとしました。また、マニュアルの不足も感じました。改めて色々な事を勉強しないといけないと思いました。
- ・多職種も巻き込んで備えていきたいと思った。
- ・手術室で被災するという事をあまり考えたことがなく現実味がなかったが、実際に被災している所もあり、明日被災してもおかしくない。そのために、日頃から意識・確認・訓練が大切。
- ・改めて災害を考える機会となり、手術室での対応など訓練の必要性を感じた。
- ・災害といえど沢山あることや、それぞれの対応について学んだ。
- ・地震発生時の初動
- ・停電対策・電力供給が不足している際の優先順位は今後考える必要がある。
- ・改めて自施設の災害時の動きを見直す必要があると感じた。
- ・JONAは帰ってすぐに見たいと思います。
- ・地震だけだと思いがちな災害ですが、停電や大雨など他にも影響することを改めて感じました。また、日頃からの備えでいざ起きたときにも焦らずに行動できると思いました。
- ・災害は、地震以外のことももっと考えるべきであると思いました。
- ・自施設の役割と詳細について知ることが必要だと思いました。日頃から意識して防災に取り組む必要があると思いました。
- ・手術室での地震・火災が起こった時に何を行うべきか（動画を見て）ストッパーをかけること、无影灯を遠ざける必要性を感じました。
- ・災害にはいろいろな種類があるので、その対応の方法、自施設の事を知っておく必要があると思った。
- ・これまで、ME機器の定位置が決まっておらず、困難していたり、ストッパーを掛けることが習慣になっていなかったため今後気をつけたいと思う。
- ・新しい視点もあり、自施設が取り組むべき点が明確になった。まずは自施設を知ることから始めようと思います。
- ・災害の種類でどの様に逃げるかという事について知る事ができた。
- ・ラパロ時のモニターの電源コンセントの確認をしようと思った。また、災害訓練でもなかなかどう動いて良いのかわからないので、アクションカードの確認が必要と思った。
- ・防ぎれた災害死が印象的で、日頃から防災力を高めることで防ぐことができると思うので、自施設の特徴や取り組みが妥当かもう一度検討し活用していきたいです。
- ・地震訓練は行っていたが、火災や停電時にどのように動けばいいのか分からなかったなので、考える良い機会となった。
- ・自施設の構造を把握する必要がある。自施設が災害時どのような役割を担うか、また、他施設はどうか把握しなければならない。
- ・災害とは地震だけでないこと、その時期に合わせた対応が必要であると感じた。
- ・日頃から備えが十分であるか考え、常に備えを増やしていききたい。

2) GW

- ・手術室内での災害を予想し、医師やME等多職種も交えて避難訓練を実施しておく、実際に起こった時に自分の役割把握や気持ちを作れると思った。
- ・1回/年診療部や多職種合同で避難訓練が出来るようにマニュアルの整備をしたい。
- ・麻酔科医師のアクションカードの作成。
- ・アクションカードの詳細
- ・待機家族のケア担当について病棟と検討を行う。
- ・災害用備蓄について、災害発生時の患者家族の安全確保などについて気づいた。
- ・机上訓練
- ・訓練の実際など自施設の対応を考え、まずは見直し。
- ・自施設の設備・訓練の内容を見直したい。
- ・部署に持ち帰り課題に取り組もうと思った。
- ・亜急性期の対応について考えることが無かったので、考えるきっかけとなった。
- ・多職種を含め周知や準備がまだまだ不十分と感じ必要性を非常に感じた。
- ・病院の非常用物品（自分の非常食や衣類、生活用品等）を備えておくことを学びました。
- ・個人備蓄用ロッカーがある施設もあり、病院用の備蓄等も考えないといけないと感じた。
- ・他施設の災害訓練の現状を知ることができた。
- ・他施設の取り組みや状況・考え方を聴くことができた。
- ・他施設で知り得た訓練方法を今後自施設に取り入れていきたい。
- ・他施設のシュミレーションや実際に行ったことを聴けて大変参考になった。
- ・各病院の状況が聞けて良かった。参考になった。
- ・経験したことを聴くことができた。
- ・他施設での取り組みを聞いて、取り入れる所は取り入れていきたいと思いました。あとDrとMEも含め訓練したいです。
- ・他施設で取り組まれていること、各々で違っているところなど自院に持ち帰り参考にしていきたいと思いました。
- ・テーマが大きくて意見が出にくかった。
- ・自分の生活している場所の地形やハザードマップを確認する必要があると思いました。

VIII. 研修時間は適当でしたか。



IX. 今後研修で希望する内容がありましたらご記入ください。

- ・手術室における感染管理
- ・術前・術中・術後訪問のあり方
- ・手術室の看護記録について
- ・実際災害にあった病院が行っている災害の対策方法
- ・手術体位（腹臥位・ビーチチェア位等）
- ・手術室の教育体制について
- ・医療安全
- ・GW が行え、他施設の方との意見交換が出来るような研修会を沢山増やして頂き、大分県の手術看護のレベルアップを図りたい

X. その他、ご意見・ご希望がありましたらご記入ください。

- ・コロナがあけて久しぶりに研修に参加してとても楽しかったです。他病院の方と悩みを相談できる機会となりました！
- ・今回の様に手術室での研修があると困ったことや悩み等分かち合えるのが良かったです。
- ・他施設の意見を聞けて良かった。
- ・ラパロ時の停電について、鉗子を動かさないとあったが、その間起伏が止まらないためにも、しっかりと緑にコードをつなぐ必要があると思った。
- ・GW の時には司会・書記・発表者を決めてほしい。なあなあな話になる。
- ・GW 毎に机があるなら、遠くから見える位置に記号等を出してほしい。もしくはプロジェクターで配置を表示してほしい。案内に駐車券の事を記載してほしい。
- ・研修ありがとうございました。